

エナリスにおける VPP 推進と、 ネガワット取引ルールに関するお願い

電力ガス取引監視等委員会 制度設計専門会合

2016.7.28



株式会社エナリス 取締役

渡部 健

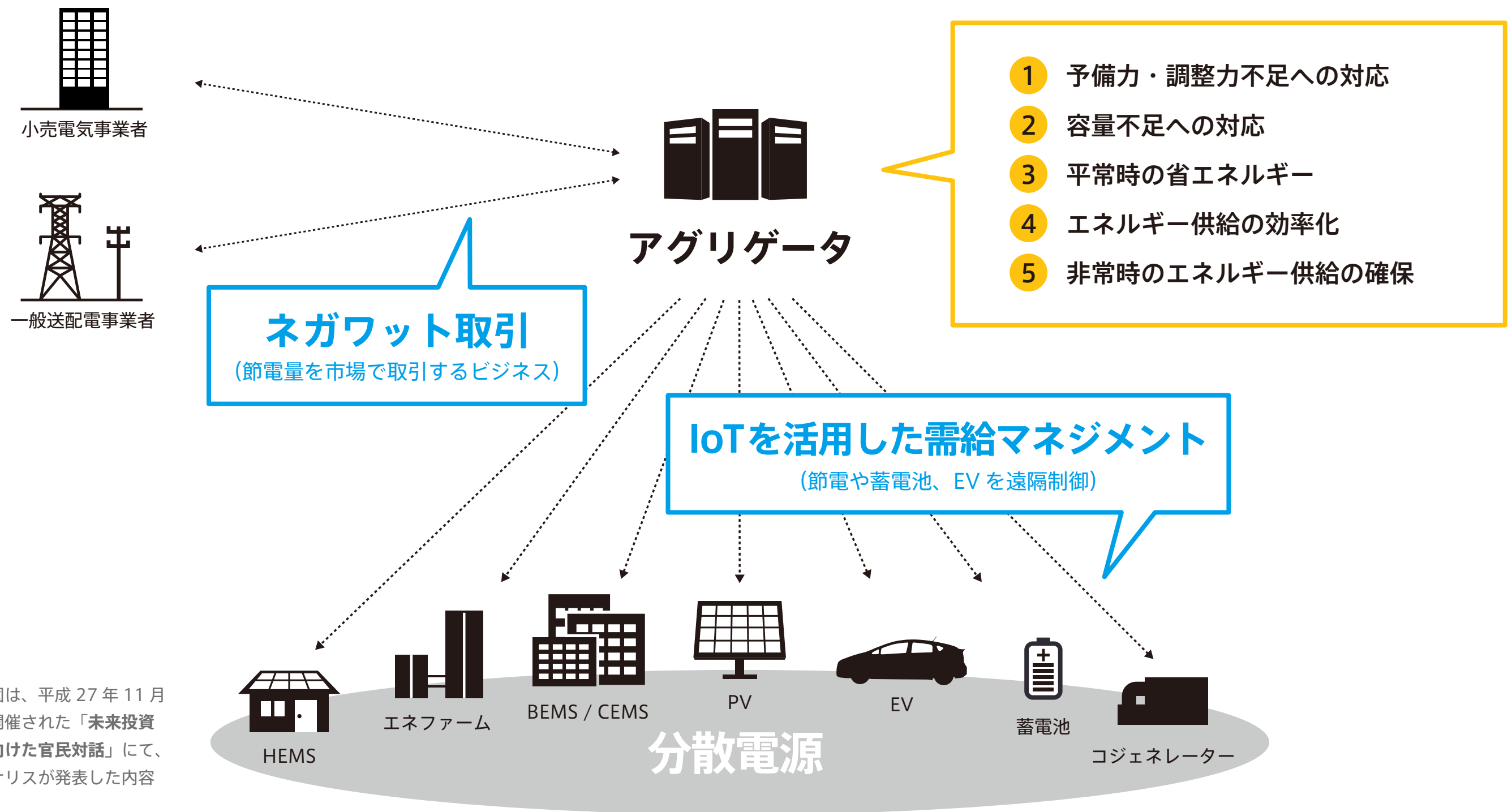
日本の新たな経済成長を支える基盤

強靱・低炭素な電力システム

- 再生可能エネルギーの導入拡大
- 電力システムの効率化と安定化

エナリスは、分散電源の普及拡大が進む中、
不足が見込まれる調整力の提供を通じて系統安定化に貢献し、
再生可能エネルギーを最大限活かせる社会の構築の一助を
担いたいと考えています。

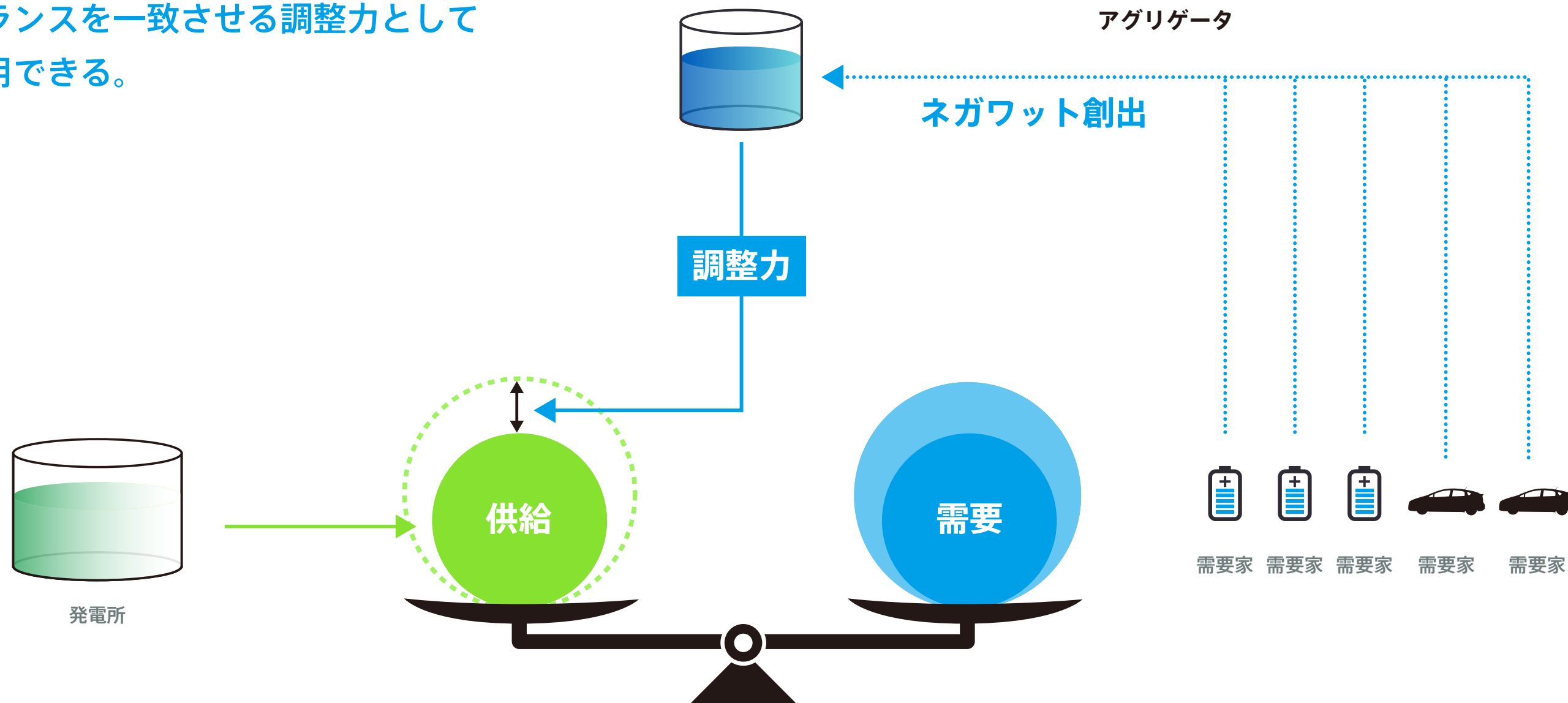
需要側で調整して、電力の需要と供給を一致させる 次世代の安定供給メカニズム



蓄電池や EV を発電所のように統合制御

IoT やビッグデータを活用した高度な需給マネジメント

社会全体に普及した蓄電池から、
ネガワットが集められ、需要と供給の
バランスを一致させる調整力として
活用できる。



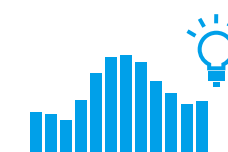
ビジネスモデルの確立

- ネガワット取引は、当社が考えるエネルギー
マネジメントサービスの一部
- 2017年のネガワット取引市場の創設は、重要

ビッグデータの利活用



高精度な電力需要予測



先駆的なサービスの創出



小売電気事業者向けサービス

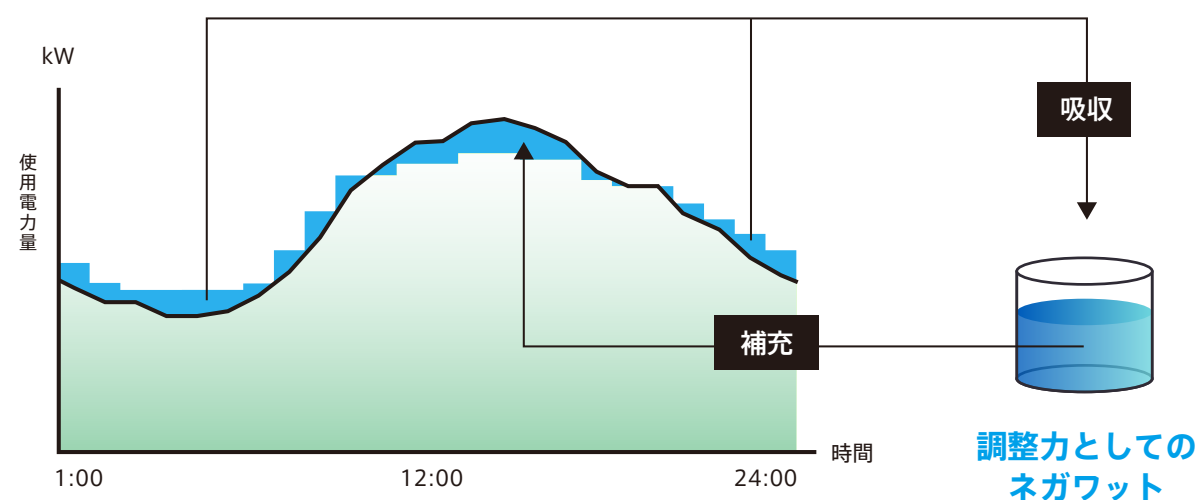
メリット:

1. インバランス制御
2. ネガワット取引
3. 昼夜間電力取引価格値差

一般送配電事業者向けサービス

メリット:

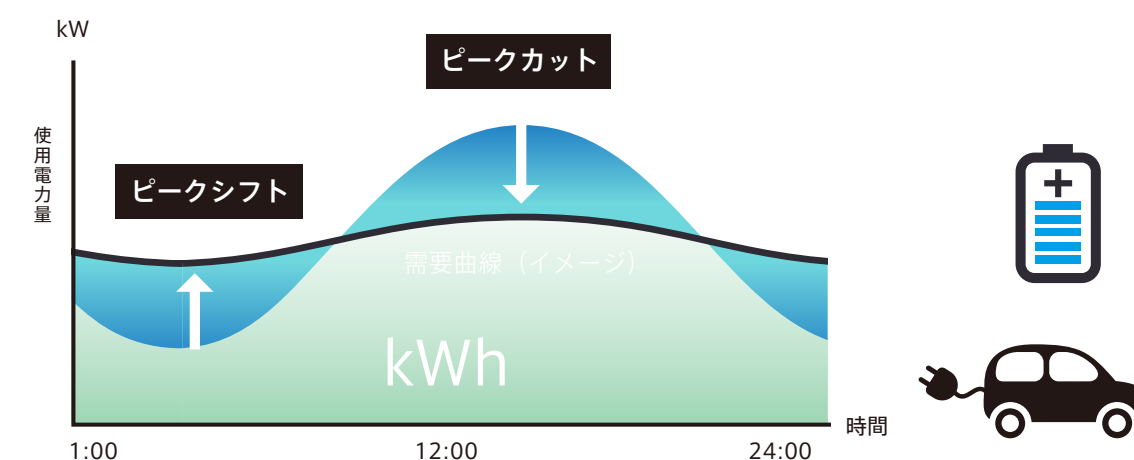
1. 系統安定化 (検討)
2. 蓄電池等による電圧/ 力率調整 (検討)



需要家向けサービス

メリット:

1. エネルギーマネジメント (ピークカット)
2. 昼夜間料金値差

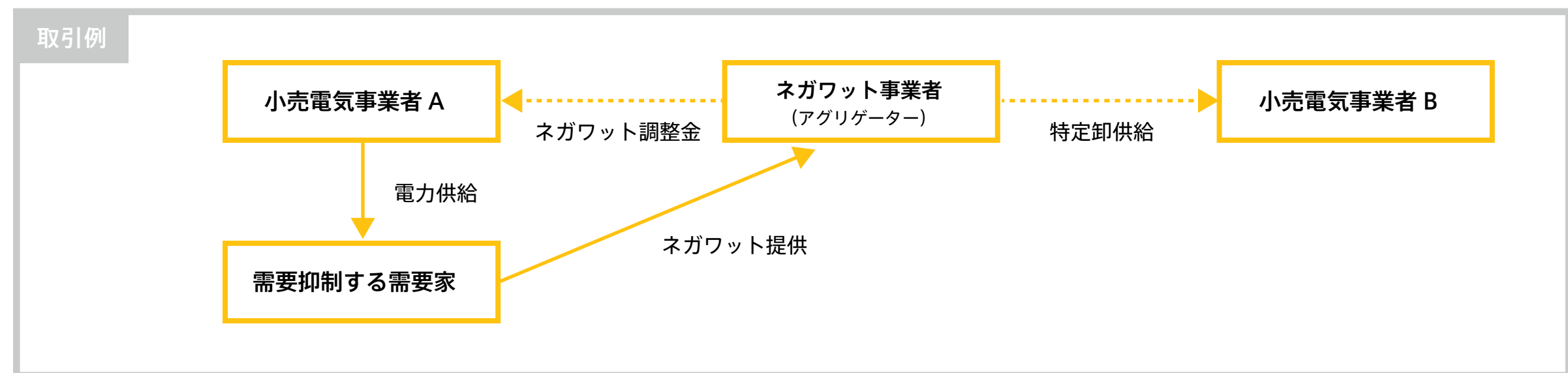


現状の制度であまり普及していないサービス

・異なる小売電気事業者の需要家とのネガワット取引（kWh の取引）

課題 現状の制度では、小売電気事業者の業務が増大することや、事務手続きに関する利益相反の関係にある小売電気事業者とアグリゲーター間の協議が整わない

要望 ガイドラインの規定、標準的な契約書の提示、第三者仲介スキームにより協議期間の短縮を図る



・一般送配電事業者と需要家とのネガワット取引（kW の取引）

課題 一般送配電及び小売電気事業者とアグリゲーター間の調整力の経済価値の水準を決めるメカニズムが確立されていない

要望 調整力の公募実施、さらには容量取引市場の早期設立による取引メカニズムの整備

第三者仲介スキームの必要性に対して

要望 第三者仲介スキームの導入を前向きにご検討頂きたいと考えています。

効果① 需要家が DR を行うための契約や手続きなどのルールが、エリアを管轄する一般送配電事業者により異なる、あるいは協議に時間がかかることなどの理由により、実質的に需要家が DR を実施できなくなることを避ける。

効果② 第三者仲介スキームを構築することで、DR の取引ルールを各小売電気事業者、各一般送配電事業者の間で統一し、需要家が AG を選択しやすい環境を構築することができ、DR の普及促進に貢献できる。

第三者仲介スキームの構築時期に対して

- 第三者仲介スキームは、詳細協議が完了していないことや、現時点で取引規模が想定できないことから、システム化までを含めた完成を 2017 年 4 月までに行うことがアグリゲータからみても困難と考えます。
- 例えば、複数の直接協議スキームをモデルとして、細かなシステム要件を実務的に確認・調整した上で業務フローやシステムなどを構築した方が良いと考えます。これにより、トラブル発生を未然に防止することが重要と考えます。



株式会社エナリス

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-5-1 御茶ノ水ファーストビル 14F
Tel:03-5567-5453 Fax:03-6657-5429